

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

| 大学名 (フリガナ) | 学部名 (フリガナ) | 所属ゼミナール名 (フリガナ) |
|--------------------|---------------|-----------------|
| フリガナ) タカサキケイザイダイガク | フリガナ) ケイザイガクブ | フリガナ) モウリ |
| 高崎経済大学 | 経済学部 | 藻利ゼミナール |

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

| チーム名 (フリガナ) | 代表者名 (フリガナ) | チーム人数 (代表者含む) | PPT 内動画 (有・無) | 動画使用 スライドページ |
|-------------|---------------|------------------|------------------|-----------------|
| フリガナ) モウリ | フリガナ) マルヤマ ガク | 8 人 | 無 | |
| 藻利ゼミチーム B | 丸山 岳 | | | |

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査時に使用したアンケート

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

高崎経済大学のイノベーション ～早稲田大学から学ぶ高崎経済大学の現状と課題～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

高崎経済大学は不満であふれている。その一つとして、購買可能な場所が生協の一店舗しかないことである。その結果、昼間の時間は、昼飯や軽食を求めて、大勢の学生が集中し混雑する。また値段が高い、種類が少ないという不満も多く挙げられ、多くの学生が不便に思っている。そこで、私たちは、この問題を解決し、高崎経済大学をよりよい大学としたいという強い思いから、生協とコンビニの共存や黒字経営に成功している早稲田大学から学び、生協の改善と企業誘致を視野に解決策を提案することが目的である。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現状の高崎経済大学の生協について、学生がどう思っているか知るために学生約 125 名にアンケートを行った。その結果、約 7 割の学生が、生協へ不満があると回答した。それを踏まえ、学生の不満の原因を知るために、私たちは、本学の生協と 2011 年から 2017 年まで本学の研究棟で営業したコンビニエンスストア (セブンイレブン) について調査した。

本学は、現在生協の一店舗のみ営業しており、学生全体を顧客対象としているが、その現状はあまり良いとは言えない。実際に、営業成績は2016年が赤字、2017年は黒字と回復の兆しが見えているようだが、財務諸表を細かく見ると、収益性を計る指標であるROAやROEの値が低く、いつまた赤字になってもおかしくはない現状がある。また、2011年から2017年まで本学の研究棟で営業したものの撤退したセブンイレブンを分析したが、売上が伸びず、人件費が圧迫し、赤字に陥った結果が撤退の理由と分かった。このように、セブンイレブンの撤退により一店舗のみになってしまったことを背景に学生が不満に感じているのが現状である。

3. 研究テーマの課題

現在の高崎経済大学の課題は、2つ存在する。

1つ目は、昼休みの混雑である。以上にもあるように、本学は生協の一店舗しかなく、昼休み（12時～12時40分の40分間）などは特に学生で混雑する。昼の休憩時間が40分という限られた中で、レジの待ち時間に費やすのはとてももったいないと言える。それを不満に思う学生も多く、その時間帯は回避し、別の方法で昼食を済ます学生もいるように、最近では生協を使うのを拒む学生もいることが現状である。

2つ目は、売上高（供給高）の向上である。分析の結果、本学の生協、および昨年に撤退したセブンイレブンともに売上が伸びず、財政状態が悪いことで、学生のニーズに応えるための資金に余裕がなかったことが分かりました。売上を伸ばすことさえできれば、学生のニーズに応えられる範囲が広がると考える。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

以上に挙げた課題について、学内で生協とコンビニエンスストア（ファミリーマート）が併存し大学周辺にも多くのコンビニエンスストアを有する大学の一つである早稲田大学について、生協およびファミリーマート本社へのヒアリング調査を行った。そのヒアリング調査の結果、本研究では以下の解決策を提案する。

1つ目は、校舎内における生協内製弁当のワゴン販売である。ワゴンを使うことによって、昼休みという学生の不満の多い時間帯のみに、昼食の売り場を拡張することが可能となる。それにより、顧客が分散され、生協の混雑は緩和されるのではないかと考えます。更に、生協の店舗は大学キャンパスの奥にあるため、生協をあまり利用したことがない学生（新規顧客）の獲得も見込まれ、昼食売り場面積の拡張と新規顧客の獲得により、生協の売上も伸びていくという効果も期待できると考えられる。

2つ目は、コンビニの無人レジ化である。本学は一人暮らしの学生が多いため、夕食時間も一定数の学生が食堂を利用するが、交通の便の影響により、食堂担当者を雇うことが困難であり、その結果メニュー数も減少している。しかし、無人コンビニを利用することで、人件費を削減でき、食堂の調理担当者を増やすことが可能となる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

高崎経済大学の生協について、実際に学生がどう思っているか知るために約125人にアンケートを行った。また、本学の生協や撤退したセブンイレブンについて詳細を知るために生活協同組合専務の磯貝様と本学施設課の金澤様に、課題解決のための情報収集のために早稲田大学の生活協同組合の大築様と小堺様、およびファミリーマートの恒松様にお話を伺った。

6. 結果や今後の取り組み

今後の取り組みとしては、本学生協と大学側に、私たちの案を提案し、実際に試行していければと考えている。

7. 参考文献

高崎経済大学生活協同組合 <https://www.univcoop.jp/takakei/>（H30年9月19日最終アクセス）。

高崎経済大学生活協同組合第78回通常総代会 議案書

早稲田コープサービス。2017年株式会社早稲田コープサービス事業報告書。

早稲田大学生活協同組合。2019。早稲田大学生活協同組合2018年通常総代会 議案書。

早稲田大学生活協同組合 <http://www.wcoop.ne.jp/about/info.html>（H30年9月19日最終アクセス）。

早稲田大学ファミリーマート <http://www.family.co.jp/>（H30年9月19日最終アクセス）。

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください